



# 本日のテーマ「 歴史を楽しもう 」

実施日：2018年9月23日

- 1 「歴メシ！ 世界の歴史料理をおいしく食べる」 【383.8】  
遠藤雅司／著 2017年 柏書房

歴史的な文脈から再現した“かいたんでおいしい料理”をたくさん紹介しています。お子さんとご夫婦と、仲の良い人たちと、歴史を話しながら、料理を作ってみるというのも楽しいと思います。



- 2 「日本髪大全 古代から現代まで髪型の歴史と結び方がわかる」  
田中圭子／著 2016年 誠文堂新光社 【383.5】



やはり、江戸時代のあの髪型は、男女ともに奇麗だと思えます。現在のように輪ゴムや便利な整髪剤もない時代に、なぜあんなややこい髪型が定着したのかと、不思議ではありません。女の人ばかりであの髪型を結んでいたというのは、スゴイです。

- 3 「そのときあの人はいくつ？ 何歳でも歴史はつくれる」  
稲田雅子／文 池上彰／監修 2008年 小学館 【280.4】

教科書に載っていた肖像画や、時代劇で演じた俳優さんのイメージが強くて、歴史上のあの人々が、あの出来事をおこなったとき、いったい何歳だったのか、ピンとこないことはありませんか？ 自分の今の歳と比べて

4 「戦国挽歌高橋紹運」 みると、僕人は、やはり並々です。  
西津弘美／著 1997年 叢文社 【LN2】



戦国時代に岩屋城にて戦死した高橋紹運。戦国武将好きの中でも人気のある彼の生き様もぜひご覧下さい。



- 5 「ひかり舞う」  
中川なをみ／著 スカイエマ／絵 2017年 ポプラ社 【Nナカ】

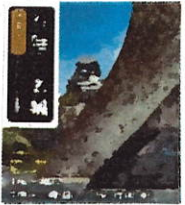
時は戦国。男子たるもの武術が得意なれば...という時代ですか、平四郎は針仕事のほうに向いていました。明智光秀の家臣であった父が亡くなり、母とも別れ、平四郎は縫い物師として生きていきます。いろいろな人に助けられて成長していく姿に元気をもらえます。



- 6 「家康、江戸を建てる」 門井慶喜／著 2016年 祥伝社 【Nカ】  
「石垣の名城完全ガイド」 千田嘉博／著 2018年 講談社 【521.8】



タイトルの通り家康が江戸の地を開発していった物語。指示を出したのは家康ですが、実際動くのは職人たち。小判を作ったり、石垣を積んだり、5つの大事業が行われます。歴史に詳しくなくても楽しめます。



合わせて読むと、よりリアルにイメージできて感動が増します。

- 7 「西郷どん！ 前編・後編」  
林真理子／著 2017年 KADOKAWA 【N八】  
「街歩き西郷どん！ 鹿児島 奄美大島 沖永良部島 京都 江戸」  
林真理子／著監修 2017年 KADOKAWA 【289.1サ】



「歴史は、若手」という人は、読みやすい「西郷どん！」からスタートして下さい。そして「街歩き...」と合わせてお楽しみ下さい。鹿児島ガイドブックとしても使えます。

8. 西郷隆盛は、何型だったのでしょうか？ 答えは、こちらを→



- 8 「はじめての土偶」 【210.2】  
響田亜紀子／取材・文 武藤康弘／監修 2014年 世界文化社



今、土偶は、ちょっとした7~4のようです。宇宙人のようなものやプラスティック、ハート形土偶なんてものもあります。とにかく造形がとてもおもしろく、見ているとなんだか癒される気がします。

有名なこの形は、遮光器土偶といえます。

